



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年6月24日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <http://www.jeansmate.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 富澤 茂
 問合せ先責任者（役職名） 代表取締役専務（氏名） 砂田 真一 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績（平成28年2月21日～平成28年5月20日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	2,145	0.4	△149	—	△142	—	△192	—
28年2月期第1四半期	2,137	△7.5	△152	—	△133	—	162	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年2月期第1四半期	△17.62		—					
28年2月期第1四半期	14.86		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年2月期第1四半期	6,022	75.6	4,553	79.7		
28年2月期	5,958	79.7	4,746	79.7		

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 4,553百万円 28年2月期 4,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年2月21日～平成29年2月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,936	8.5	23	—	28	—	△90	—	△8.24
通期	9,915	6.5	10	—	20	—	△200	—	△18.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年2月期1Q	12,651,466株	28年2月期	12,651,466株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年2月期1Q	1,726,769株	28年2月期	1,726,701株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年2月期1Q	10,924,751株	28年2月期1Q	10,925,738株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年2月21日から平成28年5月20日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復してきてはいるものの、個人消費につきましては依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社では「再生への挑戦」をスローガンに掲げ、業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、パーカーやMA-1タイプ等の羽織り物や人気キャラクターとのコラボTシャツ、また今年で4年目となる専門学校生からデザインを募った「Tシャツデザインコンテスト」で商品化したプリントTシャツ類が好調に推移しましたが、期間を通して5ポケットを中心としたボトムス類やバッグなどの雑貨類の一部で苦戦を強いられました。

販売面におきましては、従来の新聞折込広告にお客様の目的に応じてご利用いただける割引クーポン(名称「スゴイ!クーポン」)を付してご来店を促す取組みを推し進めるとともに、自社スタッフが商品を実際に着用した画像を使って商品の魅力や情報等をSNSで発信する取組みも強化してまいりました。

出退店におきましては、「Blue Standard」を2店舗出店し、「JEANS MATE」2店舗、「ワケあり本舗」1店舗の計3店舗を退店したことにより当第1四半期会計期間末の総店舗数は93店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高21億45百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業損失1億49百万円(前年同四半期は営業損失1億52百万円)、経常損失1億42百万円(前年同四半期は経常損失1億33百万円)、四半期純損失1億92百万円(前年同四半期は特別利益を3億12百万円計上したことなどもあり、四半期純利益1億62百万円)となりました。

業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域(都道府県)
JEANS MATE	70店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 静岡 愛知 大阪 広島 福岡
ワケあり本舗	9店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫
Blue Standard	8店舗	千葉 埼玉 静岡 大阪 山口 福岡
Happy Door	2店舗	神奈川 広島
STREET	2店舗	千葉
comfort blue	1店舗	東京
WHmarket	1店舗	福岡

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ63百万円増加し、60億22百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ11億94百万円増加し、44億49百万円となりました。これは主に有価証券が7億円増加、商品が5億1百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ11億30百万円減少し、15億73百万円となりました。これは主に投資有価証券が11億4百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ2億56百万円増加し、14億69百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ2億70百万円増加し、9億72百万円となりました。これは主に買掛金が2億89百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ13百万円減少し、4億96百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ1億92百万円減少し、45億53百万円となりました。これは主に四半期純損失を1億92百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年4月1日に公表いたしました「平成28年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業損失6億63百万円、当期純損失5億46百万円となり、当第1四半期累計期間においても営業損失1億49百万円、四半期純損失1億92百万円となりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、販売力強化と経費削減による収益力の回復に取り組んでまいります。

① 「適品」、「適時」、「適価」、「適量」、「適所」の追求による在庫効率の改善

- ・ これまでは商品を4シーズン制で管理してきましたが、6シーズン制に細分化し、シーズンごとに売り切る体制を構築してまいります。それにより店頭在庫を全般的に削減し、お客様にとって見やすく買いやすい売場となるよう取り組みながら、売場管理業務面においても効率化を目指してまいります。
- ・ 物流センターの商品備蓄機能を強化し、タイムリーな商品フォローの実現による販売機会ロスの削減に取り組んでまいります。また、店頭在庫を集約し再編集・再配分する機能も強化し、シーズン末を中心とした店舗間の不均衡在庫を解消することにより在庫消化の精度を高めてまいります。
- ・ 店舗立地や店舗特性に応じた品揃えの実現に努め、買上客数の増加を目指してまいります。
- ・ 市場動向等を見極めながら、競争力のある適正な価格を設定し、値下げロスの抑制に努めてまいります。

② 「売場・商品・販促」の三位一体による売上高の向上

- ・ 関連チームの合同会議を設置し、商品情報等の共有化や販売方法等の検討・調整を行ない売場(店舗)への落とし込み(具現化)を徹底してまいります。
- ・ SNSやメールによる情報発信を継続強化していくとともに、売場での展開方法やPOP等の見直しによる提案力の強化にも取り組んでまいります。
- ・ 販売スタッフ(特にパートスタッフ)の育成制度の見直しと進捗管理の強化等により店頭販売力の底上げを図ってまいります。
- ・ 外国人旅行者に向けてSNSやガイドブックへの掲出による情報発信を継続していくとともに、来店客数の多い店舗では免税販売を行ない、引き続き外国人旅行者の獲得を目指してまいります。

③ 「EC」、「新業態」の育成・拡大

- ・ これまで兼業で進めてきたEC事業について専任チームを組み、売上拡大に注力してまいります。
- ・ 自社サイトをはじめ、大手通販サイトへの出店等も実現してまいりましたが、今後は認知度拡大のために、メルマガの定期配信や実店舗での告知等にも取り組んでまいります。
- ・ 新業態店舗については、業態ごともしくは店舗ごとに収益力にバラつきが見られることから、引き続き細部に至るまで検証し、業績の底上げに努めてまいります。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

なお、文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において当社が判断したものであり、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月20日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	877,756	839,885
売掛金	128,219	247,261
有価証券	523,444	1,224,105
商品	1,512,038	2,013,116
その他	213,736	124,918
流動資産合計	3,255,193	4,449,286
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,107,868	3,760
敷金及び保証金	1,587,531	1,562,816
長期未収入金	171,580	171,250
その他	8,169	6,864
貸倒引当金	△171,580	△171,250
投資その他の資産合計	2,703,569	1,573,440
固定資産合計	2,703,569	1,573,440
資産合計	5,958,762	6,022,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,914	563,971
未払金	295,205	320,488
賞与引当金	25,426	11,867
店舗閉鎖損失引当金	6,627	1,034
資産除去債務	32,289	31,394
その他	67,849	43,757
流動負債合計	702,313	972,514
固定負債		
資産除去債務	400,005	386,778
その他	110,122	109,973
固定負債合計	510,128	496,752
負債合計	1,212,441	1,469,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	1,865,028	1,672,484
自己株式	△1,260,351	△1,260,363
株主資本合計	4,745,924	4,553,367
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	397	92
評価・換算差額等合計	397	92
純資産合計	4,746,321	4,553,460
負債純資産合計	5,958,762	6,022,727

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年2月21日 至平成28年5月20日)
売上高	2,137,687	2,145,694
売上原価	1,089,252	1,118,619
売上総利益	1,048,435	1,027,074
販売費及び一般管理費	1,200,722	1,177,055
営業損失(△)	△152,287	△149,980
営業外収益		
有価証券利息	4,599	4,289
受取賃貸料	5,370	5,370
営業補償金	12,000	—
その他	1,823	4,153
営業外収益合計	23,793	13,812
営業外費用		
賃貸費用	5,370	5,370
その他	115	693
営業外費用合計	5,485	6,063
経常損失(△)	△133,979	△142,231
特別利益		
違約金収入	312,000	—
特別利益合計	312,000	—
特別損失		
減損損失	3,764	39,122
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,108	1,034
特別損失合計	4,873	40,157
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	173,146	△182,388
住民税	10,828	10,156
法人税等調整額	△70	—
法人税等合計	10,758	10,156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	162,388	△192,544

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。